

「子どもたちのスポーツと成長痛」

講師…渡邊幹彦 医師

スポーツを楽しむ子どもたちにとって、その成果は身体の発育発達に大きな好影響を及ぼす一方多くのケガに直面することになります。特に小学生期を中心に「成長痛」と言われる、膝・踵を中心とした痛みを発症する子どもは多く、有病率は世界的に10～20%といわれています。この痛みは休めば一旦は症状がよくなるけど、練習を再開するとまた直ぐに痛みが出てしまうことも多く、「どうすればいいのだろう?」「どのくらい休めばいいのだろう?」と心配になる親御さんも多いかと思えます。菜の花の子どもたちからも、同様の症状があったり・ご相談を受けたりする場面がいくつかありました。

「成長痛」の原因や対処法は一般的には詳しく知られていないのが現状です。今回は、成長や競技力をサポートする意味合いから「成長痛」の正しい知識を、スポーツ整形外科のスペシャリストから学びたいと思います。

講演講師をご依頼した「渡邊幹彦先生」は、須田との20年来の知人であり須田の主治医であります。

開催場所 ゼットエーオリピスタジアム(陸上競技場)内会議室

日時 2023年6月18日(日)
受付 10:00
講演 10:30～11:30
質疑応答 11:30～11:45
※当日は、ゼットエーにて「菜の花AC」の通常活動を実施しています…子どもたちの活動と同時開催になります。

費用 無料

対象 ◎菜の花会員各ご家庭1人
(多くのご家庭に情報を提供したい主旨です)
◎市原市内在住：在勤のスポーツを行う子どもを持つ保護者
約50人(先着順)→[広報いちほら6月1日号にて掲載・ご案内]
※一般の方は、「市原市緑地公園管理所 0436-21-4441 に直接問い合わせください。

主催 一般社団法人 菜の花アスレチッククラブ
共催 公益財団法人 市原市地域振興財団

講師プロフィール

渡邊 幹彦 (わたなべ みきひこ)



- 1987年 香川医科大学卒業、同年昭和大学整形外科入局
- 2000年 シドニーオリンピック 日本代表ドクター
- 2001年 日本鋼管病院 スポーツ整形外科部長
- 2004年 アテネオリンピック 日本代表ドクター
- 2012年 東京明日佳病院 着任
- 2015年 東京明日佳病院 院長
- 2020年 東京明日佳病院 名誉院長
- 2023年 世田谷おくさわ整形外科病院 名誉院長
(2023.4 東京明日佳病院から改名)

昭和大学整形外科客員教授
日本整形外科学会 整形外科専門医
日本整形外科学会 専門医
日本リハビリテーション医学会 専門医
日本整形外科スポーツ医学会 代議員
日本臨床スポーツ医学会 代議員
日本肘関節学会 評議員
日本スポーツ協会 認定スポーツドクター
日本野球協議会オペレーション委員会 医科学委員会委員長
全日本野球協会(BFJ)強化本部 医科学委員会 委員長
日本プロフェッショナル野球機構(NPB) 医事委員
NPO 法人 日本女子野球協会 理事